

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

食・運動・睡眠等日常行動の作用機序解明に基づくセルフマネジメント

3. 研究開発課題名

生活時間と体内時計の不適合による恒常性破綻

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

八木田 和弘(京都府立医科大学 大学院医学研究科 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、生活時間と体内時計の不適合による恒常性破綻機序の解明、および恒常性破綻を原因とする未病状態の検出とセルフマネジメントを目指すものである。

探索研究期間では、概日リズム障害の発生過程再現モデルを確立した上で、個人の未病状態や概日リズム状態を定量化する方法論を構築したことを評価する。

また、交替勤務の看護師を対象とした生理機能計測を行い、計測データから包括的概日リズム評価ができる可能性を示すなど、優れた成果が認められた。

今後は、研究成果を基にした企業との連携を加速するとともに、概日リズムのセルフマネジメントの実現に向けて研究開発が発展することを期待する。

以上